

【第1号議案】

令和3年度事業報告及び補正予算（案）について

1 令和3年度事業報告

(1) 瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催に向けた準備

① 全般

芸術祭 2022 の開催に向け、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、地域住民や関係行政機関、文化関係団体、大学、船舶事業者、旅行事業者、その他関係機関等と協議調整を行いながら、アートプロジェクトやイベント、受入環境の整備、広報等の準備を行った。

② アートプロジェクト・イベントの準備

取組方針の「重点的な取組みの視点」に掲げる「瀬戸内の里海・里山の資源の発掘と発信」、「より質の高い交流への転換」等について、地元市町や学校、関係団体と協議しながら、実施内容の検討・準備を行った。また、参加作家の選定を行うとともに、地元住民や関係機関等との協議・調整を進め、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じながら、作品の制作やイベントの準備等を行った。

③ 受入環境の整備

ア 新型コロナウイルス感染症対策

令和4年3月3日に開催した瀬戸内国際芸術祭実行委員会第8回本部会議において、基本的な感染対策やケース別の対応、来場者の検温及び体調確認、島での有症状者の発生時の対応、感染状況を踏まえた開催の考え方等を盛り込んだ「瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針」を決定し、同日公表した。

イ 海上・島内交通

既存航路の増便や臨時航路の開設に向け、関係事業者等と協議・調整を行うとともに、来場者の利便性向上や乗船窓口付近での混雑緩和を図るため、「フェリー6航路限定3日間乗り放題券」の販売に向けた準備を行った。また、既存バス路線のダイヤの増便等について、関係事業者等と協議・調整を行った。

ウ 会場運営

前回開催時の実績を基に地元市町等の関係者と協議・調整を行い、各案内所のスタッフや警備員の配置の準備を行ったほか、問い合わせ等に対応するため、令和4年2月13日から案内所の本部を開設した。また、無料Wi-Fiの整備や来場者を導く誘導看板の設置など、会期中の受入環境の整備を行った。

エ 公式アプリ

作品や案内所、公衆トイレ、コインロッカー等の位置や情報が分かるマップや、現在地から目的の作品までの経路検索を行うことができる機能を搭載した公式アプリの開発を行った。

④ 広報・誘客活動

ア 企画発表会の開催、イベントの実施

オンライン配信も併用して企画発表会等を開催し、国内外に情報発信を行った。

○ 瀬戸内国際芸術祭 2022 メインビジュアル発表会

日 時 | 令和3年9月29日(水) 13:00~14:00

場 所 | サンポートホール高松 第2小ホール

参加者 | 会場: 16名(メディア関係者)、オンライン: 300名

○ 瀬戸内国際芸術祭 2022 企画発表会

日 時 | 令和3年11月9日(火) 13:00~14:00

場 所 | 日本橋ホール(東京都中央区)

参加者 | 会場: 39名(メディア関係者、協賛企業)、オンライン: 578名

イ 公式ウェブサイト・SNSによる広報

令和3年11月9日に、公式ウェブサイトのリニューアルを行い、芸術祭2022に関する様々な情報の5言語(日本語・英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語)での発信を開始した。また、芸術祭の過去の作品や会場の島の歴史、文化等にスポットを当て、その魅力をSNSで配信した。

ウ 誘客活動

香川県や香川県観光協会、せとうちDMO等が実施する観光プロモーションと積極的に連携して誘客の活動を行うとともに、芸術祭を組み込んだ旅行商品の造成に向け、関係者と協議・調整を行った。

⑤ ボランティアサポーター

特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークと連携し、オンライン配信セミナー(令和4年1月29日)の開催やこえび新聞の発行等を通じて「こえび隊」への参加を呼びかけた。また、地元でのサポーターづくりのために、県内の主要企業や県内外の大学等を訪問し、ボランティアへの参加の働きかけを行った。

⑥ チケット

従来の紙のパスポートに加え、感染拡大防止(接触機会の遡減)等の観点から、デジタルパスポート(デジタルパスポートアプリの開発)を導入したほか、コロナ禍で増加が見込まれる短期滞在の来場者の利便性向上等の観点から、新たに、デイチケット(1デイ・2デイ)を設けた。また、香川・岡山県内の高校生等を対象とした作品鑑賞パスポートの無料引換券付きのチラシを各学校あてに送付できるよう準備を行った。

⑦ 公式グッズ

瀬戸内国際芸術祭の公式ロゴをデザインしたTシャツやてぬぐいなど、過去の芸術祭から継続して販売している定番的なグッズのほかに、芸術祭2022のメインビジュアルをモチーフとした新しいデザインのグッズや環境にやさしい素材を用いたグッズの開発などに取り組んだ。

⑧ 寄付・協賛等

企業や団体に対して芸術祭 2022 の協賛依頼を実施し、協賛申込企業・団体数は前回と同程度となっている。

また、企業等を対象として、瀬戸内国際芸術祭の社会的価値と持続可能な社会の実現について考えるオンラインイベントを実施したほか、芸術祭 2022 のパートナー企業による SDGs の取組みを、芸術祭の公式ウェブサイトに掲載できるよう準備を行った。

○ 瀬戸内国際芸術祭の目指すもの ～アートによる地域再生と SDGs～

日 時 | 令和 3 年 4 月 22 日 (木) 13:00～15:00

場 所 | オンライン

参加者 | 665 名

(2) ART SETOUCHI の運営

① 全般

新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえながら、芸術祭 2019 からの継続作品の公開を行うとともに、各種イベントを開催した。また、公式ウェブサイトや SNS を活用して、各島のイベント情報等を積極的に発信した。

② 継続作品の公開

地元市町の意向も踏まえ、直島や豊島、女木島、男木島、小豆島、犬島、沙弥島、本島、栗島、伊吹島、高松港、宇野港において、屋外作品を中心に、芸術祭 2019 からの継続作品の公開を行った。また、女木島、男木島においては、令和 3 年 10 月に、新型コロナウイルス感染症への対策を適切に講じながら、屋内作品の特別公開を行った（令和 3 年 4 月から令和 4 年 2 月末までの屋内作品の延べ来場者数は 219,877 人）。

③ アートイベント等

新型コロナウイルス感染症への対策を適切に講じながら、各種イベントを開催し、公式ウェブサイトや SNS を通じて情報発信を行った。

イベント名	実施月	会場	参加者数
豊島「島のお誕生会」	令和 3 年 4・7・8・10・11・12 月、令和 4 年 1・3 月	豊島	222 名
女木島名画座上映会	令和 3 年 10・11 月	女木島	28 名
瀬戸内アジアフォーラム	令和 3 年 10 月 17 日	オンライン	179 名
瀬戸内少女歌劇団	令和 3 年 11 月	男木島	30 名

④ ツアーガイドの育成

ツアーガイドの公募を実施し、実際にガイドとして参加が見込まれる者を対象に、令和 3 年 9 月から令和 4 年 1 月にかけて、実地研修やオンライン講習等を実施した。

⑤ 広報活動

「ART SETOUCHI」のポスターとリーフレットを作成して、関係機関等に配布した。また、公式ウェブサイトや SNS、パブリシティを活用して、取組みを広く発信するとともに、芸術祭 2022 に向けた機運の醸成を図った。

⑥ 学校連携事業

新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、教育委員会や学校等と連携して、芸術祭に関する学習や課外活動等を実施した。

実施内容（連携先）	実施月	参加者数
高校生のための瀬戸内アートサマープログラム （香川県教育委員会生涯学習・文化財課）	令和3年7月～8月	50名
①路線バスで行く坂出三島現地研修 ②櫃石島クリーン作戦 ③香川・坂出の観光や芸術祭に関するレクチャー （香川県立坂出商業高等学校）	①令和3年8月 ②令和3年10月 ③令和3年10月、 令和4年3月	①13名 ②12名 ③30名
①伊吹島島民が望む実用品（ベンチ）の試作 ②伊吹島の魅力を伝えるツアー等の企画立案 ③芸術祭の来場者への提供を想定した弁当の試作 （香川県立観音寺総合高等学校）	令和3年6月～ 令和4年3月	①6名 ②46名 ③37名
こえび隊から学ぼう！“瀬戸内国際芸術祭” ガイド体験 in 小豆島 （香川県立小豆島中央高等学校）	令和3年10月～11月	14名

⑦ サポーター

ボランティアサポーター「こえび隊」が、継続作品の受付やイベントの運営等のほか、芸術祭の会場となる島で行われる地域の文化祭や運動会に参加するなど、地域活性化の取組みに継続的に関わった。また、SNSで定期的に「こえび隊」の情報を発信するなど、新たなサポーターの募集に取り組んだ。

⑧ その他

継続作品のメンテナンスを行い、最良の状態での鑑賞ができるよう必要な整備を行った。

2 令和3年度補正予算（案）

（1）瀬戸内国際芸術祭開催事業費

◎ 収入

（単位：千円）

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
負 担 金	311,580	311,580	—	
香川県	99,750	99,750	—	
高松市	49,870	49,870	—	
丸亀市	7,350	7,350	—	
坂出市	7,350	7,350	—	
観音寺市	7,350	7,350	—	
三豊市	7,350	7,350	—	
土庄町	7,350	7,350	—	
小豆島町	7,350	7,350	—	
直島町	7,350	7,350	—	
多度津町	3,410	3,410	—	
玉野市	7,350	7,350	—	
福武財団	99,750	99,750	—	
補助金・助成金	37,241	33,607	△ 3,634	国庫補助金の減額見込みに伴う減等
寄付金・協賛金	72,070	100,898	28,828	
チケット等販売収入	29,285	2,250	△ 27,035	チケット販売の減
その他	3,144	2,540	△ 604	
前年度繰越金	207,925	227,414	19,489	R2年度の決算額の確定に伴う増
計	661,245	① 678,289	17,044	

◎ 支出

（単位：千円）

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
アートプロジェクト費	131,043	128,562	△ 2,481	
作品制作費等	127,649	127,439	△ 210	
イベント運営費	3,394	1,123	△ 2,271	事業見直しによる減
運営活動費	122,761	91,760	△ 31,001	
広報活動費	82,332	53,409	△ 28,923	事業見直しによる減
交通対策費	130	250	120	
会場運営費等	30,099	29,165	△ 934	
事務局運営費	10,200	8,936	△ 1,264	事業見直しによる減
チケット・グッズ等制作費	20,183	28,133	7,950	電子チケット制作費用の増
予備費	5,000	—	△ 5,000	
ART SETOUCHI運営費への繰出金	66,426	63,739	△ 2,687	
計	345,413	② 312,194	△ 33,219	

◎ 令和3年度収支差額

収支差額(①-②)

366,095 千円

（翌年度瀬戸内国際芸術祭開催事業費へ繰越）

(2) ART SETOUCHI 運営費

◎ 収入

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
補助金・助成金	18,684	16,417	△ 2,267	国庫補助金の減額見込みに伴う減
チケット・グッズ販売等	4,312	778	△ 3,534	イベント等の中止等に伴う減
芸術祭開催事業費からの繰入金	66,426	63,739	△ 2,687	
計	89,422	① 80,934	△ 8,488	

◎ 支出

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
作品継続費	50,127	44,701	△ 5,426	
作品管理費	21,778	20,847	△ 931	
イベント開催費等	28,349	23,854	△ 4,495	イベント等の中止に伴う減等
運営活動費	38,295	36,233	△ 2,062	
広報活動費	1,855	1,000	△ 855	
会場運営費等	35,940	34,733	△ 1,207	事業執行に伴う減
事務局運営費	500	500	-	
予備費	1,000	-	△ 1,000	
計	89,422	② 80,934	△ 8,488	

◎ 令和3年度収支差額

収支差額(①-②)

0 千円

【第2号議案】

令和3年度収支決算の認定に関する権限の委任について

瀬戸内国際芸術祭実行委員会の令和3年度収支決算の認定に関する権限を、本部会議に委任する。